

いまでも月の夜  
 行つてごらん  
 ながなが 長い  
 影法師  
 やつぱり お首が  
 ありませぬ

昭和の子供

昭和、昭和

昭和の子供よ、僕たちは

姿もきりり

心もきりり

山、山、山なら 富士の山

行かうよ、行かう、足並そろへ

タラララ、タララ、タララララ

昭和、昭和



昭和の子供よ、僕たちは

大きなのぞみ

明るい心

空、空、空なら 日本晴

行かうよ、行かう、足並そろへ

タラララ、タララ、タララララ

昭和、昭和、

昭和の子供よ、僕たちは

元気なからだ

みなぎる力

鳥、鳥、鳥なら 鷹の鳥

行かうよ、行かう、足並そろへ

タラララ、タララ、タララララ



## 一寸法師

一寸法師は 箸の權

淀のながれを ひとり旅

ギツチラヨホホイ ギツチラヨホホイ  
漕いでいく

針の大小 落し差

赤いお椀に ゆれながら

ギツチラヨホホイ ギツチラヨホホイ  
漕いでいく

一寸法師は お武士

とてもかはいゝ おさむらひ

ギツチラヨホホイ ギツチラヨホホイ  
漕いでいく

淀の夜明を にこにこと

京の三條の 夢をみて

ギツチラヨホホイ ギツチラヨホホイ  
漕いでいく



酒屋の酒藏

白い藏

ちらりと見上げて

いきました

酒屋の酒藏

酒屋の酒倉

白い倉

夕日がてりてり

日がくれる

石垣 高いよ

垣の外

けふもまた来た

乞食の子



にここ村の七寶

にここ村の

七たから

お腰のまがつた

村長さん

劍術自慢の

巡査さん

なんでも知つてる

校長さん

春に一度の

村芝居

秋は稲田と

山の栗

わつちを加へて

七寶

ちよんまげぢいさん

舟大工

川原で にここ

いひました



すずめ

すずめの

おうちはやぶのなか

かはいい おうちでございます

すずめの

とうさま おかあさま

やつぱり すずめでございます

すずめの

なかよい おともだち

これも すずめでございます

すずめの

おはなし チツチノパ

すずめの ことばでございます



子供の波

ドンとジャツプ　ドンとピツチ  
ドンとジャツプ　ドンとピツチ

子供の波は

月のあかりに　こどもの波は

舟ばたたゝいて　ドンと、あそぶ

ドンとジャツプ　ドンとピツチ

ドンとジャツプ　ドンとピツチ

子供の波は

起きてころげて　こどもの波は

濱邊をかけ駈け　ドンと、うたふ

ドンとジャツプ　ドンとピツチ

ドンとジャツプ　ドンとピツチ

子供の波は

みんな寝たまも　こどもの波は

島のまはりを　ドンと、をどる



とんから山

とんから山の

四十雀が

とんから

とんから

機を織る

雨の降る日は

雨を見て

お日の照る日は

お日を見て

とんから

とんから

機を織る

とんから山の

四十雀が



## 坊やの散歩

坊やはこれから

お散歩よ

パパと一しよに

お散歩よ

お靴はエナメル

素的だよ

あるけば　グツグと

なるんだよ

ステツキなんか

いらないよ

お手をふりふり

いくんだよ

坊やはこれから

お散歩よ

さあさ、お靴が

はけました



遊 戯

ボンパン ボンパン  
ピアノです  
前見て元氣に  
あるきます

ボンパン ボンパン  
とまれです  
圓陣つくつて  
とまります

ボンパン ボンパン  
はじめです  
タラララ タラララ  
をどります

ボンパン ボンパン  
をはりです  
校長先生の  
拍手です



## 小蟹の宿

蘆あしの小川がはにお月つきさま小蟹こがにのお宿やどもお月つきさまあかるいお宿やどの軒下のきしたで小蟹こがには 鉄てつを

といでます

お猿さるさんのお首くびをちよんと切きる鉄てつをせつせと

といでます

月つきのあかりでちよいと見みてはきれそだ切きれそだと

といでます



小蟹の鋏

チヨツキリ、チヨツキリ

チヨツキリ鋏はさみは 小ちひさな鋏はさみ

木の葉はも切きれぬ

葦あしの葉はも切きれぬ

こ、こ、こ、小蟹こがたは

チヨツキリ鋏はさみを チヨツキリ磨といだ

チヨツキリ、チヨツキリ

チヨツキリ鋏はさみは 小ちひさな鋏はさみ

お背戸せうの流ながれ

ちよろちよろ流ながれ

こ、こ、こ、小蟹こがたは

チヨツキリ鋏はさみを チヨツキリといだ

チヨツキリ、チヨツキリ

チヨツキリ鋏はさみを チヨツキリとげば

ピカリと光ひかる

チヨキリとされる

こ、こ、こ、小蟹こがたは

チヨツキリ鋏はさみを チヨツキリといだ



チヨツキリ チヨツキリ  
 テヨツキリ 鉄はきみは 小ちひさな鉄はきみ  
 お猿さるどんどこよ  
 かたきはどこと  
 こ、こ、こ、小こ蟹がには  
 チヨツキリ鉄はきみを チヨツキリといだ

### 今桃太郎

おちいさまは  
 ウントコドツコイ 柴刈しほりに  
 おばあさまは、  
 ウントコドツコイ 洗濯せんたくに  
 これは、これは おかしなお山やま  
 さがせど、さがせど、柴しほがない  
 さても、さても、ふしぎな流ながれ  
 待まちつても、待まちつても、桃ももがこぬ



おぢいさまは、

ウントコドツコイ おくたびれ

おばあさまも、

ウントコドツコイ おくたびれ

これは、これは 山やまにはとんび

びんひよろ、びんひよろ、鳴なくばかり

さても、さても、川かはにはお舟ふね

ほつちやん、ほつちやん、なるばかり

おぢいさまは、

ウントコドツコイ たばこの輪わ

おばあさまは、

ウントコドツコイ しやぼん玉たま

これは、これは、おたばこのんで

ふつかり、ふつかり、目めがくれた

さても、さても、しやぼん玉たまとぼして

ふつかり、ふつかり、目めがくれた



## 人さし指

竹とんぼを

つくつてゐたのだよ

日だまりに 筵をしいてな

うまやの

そばだつたよ

いちぢくが うれてゐたよ

肥後の守よ

赤い血だつたよ

左の人さし指をな

みんなみんな

留守だつたよ

いちぢくの木の下で 泣いてゐたよ

ほうれ、

こんな傷跡だろ

とうさまが こどものころだよ



ニコニコ星

ニコニコ星が

こんばんも

空で にここ

見てゐます

えらい こどもは

ゐないかと

あちら こちらを

見てゐます

ニコニコ星よ

えらい子は

こゝにゐるよと

よんでやらう



鬼さんこちら

鬼さんこちらへ ポンポンポン  
お手の鳴る方へ ポンポンポン  
上見ちや お空が あるばかり  
下見ちや 赤土 あるばかり  
さあさ、こちらへ

ポンポンポン

鬼さんこちらへ ポンポンポン  
お目をつぶつて ポンポンポン

夕焼小焼が まつかいな  
まつかい小焼が 見えますか  
さあさ、こちらへ

ポンポンポン

鬼さんこちらへ ポンポンポン  
甘酒進上 ポンポンポン  
お耳があるでしょ 聞えましょ  
前です 横です うしろです  
さあさ、こちらへ



鬼さんこちらへ　ボンボンボン  
おつかなびつくり　ボンボンボン  
鬼でも鬼でも　この鬼は  
おかしやかはいや　めくら鬼  
さあさ、こちらへ

ボンボンボン

とんまのトン吉

トントんとんまの　トン吉が  
かけ駆け　街まで　来たころは  
けろりと御用を　忘れてた

「オヤ、オヤ」

トントんとんまの　トン吉は  
ばかりと、お店を　見てばかり

トントんとんまの　トン吉が  
ころりと坂道　ころがつて



起きるに起きれぬ ふところ手

「オヤ、オヤ」

トントんとんまの トン吉は

ほかんと、お空を 見てばかり

トントんとんまの トン吉が

お山であそんで 日がくれて

そのまゝごろりと 高いびき

「オヤ、オヤ」

トントんとんまの とん吉よ

夜ふけは狐が 泣くばかり

トントんとんまの トン吉が

どなたに聞いたか どうなのか

お寶さがしに 川のふち

「オヤ、オヤ」

トントんとんまの トン吉よ

行つてもいつても 水ばかり



小さなお馬車

小さなお馬車は たれが曳く  
 たてがみしやんしやん 鈴つけて  
 パカくパカく 足音かるく  
 小さなお馬が 曳いてゆく

小さなお馬車は たれが乗る

コバルト洋服 房帽子

ピーパーピーパー 小笛を吹いて  
 小さな子供が 乗つてゆく

小さなお馬車は どこへゆく

お夢の御殿へ 夢買ひに

パカくパカく 足音かるく

濱邊の街道 駈けてゆく

小さなお馬車は いつ歸る

お夢の御門の 閉ぢるころ

ピーパーピーパー 小笛を吹いて

にこにこ朝道かへります

(終り)



曲  
譜

日 和 傘 ・ 中 山 晋 平 作 曲

子 供 の 波 ・ 弘 田 龍 太 郎 作 曲

昭 和 の 子 供 ・ 佐 々 木 す ぐ る 作 曲



+ラチーラーワカバノヒモマハル  
 ののやまこえてまわりませう

日和傘

久保田實二作歌  
中山晋平作曲

♩=80

マハセバクルクルヒヨリーガーナ  
 つきの五のひはごえんにーら

マナギニツバノエガーハル  
 ののやまこえてまわりませう

マハセバクルクルヒヨリーガーナ



子供の波

212

久保田宵二作歌  
弘田龍太郎作曲

*mf*

は つきの あ かり に こ ども の  
は おきて こ ろけて こ ども の  
は みん な わ たま も こ ども の

*mf*

な み は はま べ を か けか け  
な み は し ま の ま はり を  
な み は ふな ば た れ たい て

は と シ ョ ッ プ は と ビ ッ チ は と あ せ ぶ  
は と シ ョ ッ プ は と ビ ッ チ は と あ せ ぶ  
は と シ ョ ッ プ は と ビ ッ チ は と あ せ ぶ

舞踏曲の速さで

*mf* *cresc.* *f*

*mf*

は と シ ョ ッ プ は と ビ ッ チ は と あ せ ぶ  
は と シ ョ ッ プ は と ビ ッ チ は と あ せ ぶ  
は と シ ョ ッ プ は と ビ ッ チ は と あ せ ぶ

は と シ ョ ッ プ は と ビ ッ チ は と あ せ ぶ  
は と シ ョ ッ プ は と ビ ッ チ は と あ せ ぶ  
は と シ ョ ッ プ は と ビ ッ チ は と あ せ ぶ



ハ　　マ　　ガ　　タ　　モ　　キ　　リ　　ヲ　　コ　　コ　　ロ　　モ　　キ　　リ　　ヲ　　マ　　ハ　　ハ  
 は　　は　　は　　き　　な　　の　　そ　　み　　お　　か　　る　　い　　こ　　こ　　ろ　　を　　ら  
 ハ　　ゲ　　ン　　キ　　ナ　　カ　　ラ　　ダ　　シ　　ナ　　ギ　　ル　　チ　　カ　　ラ　　ト　　ヲ

マ　　ハ　　マ　　ナ　　ラ　　フ　　ジ　　ノ　　マ　　マ　　ユ　　カ　　ク　　ロ　　ユ　　カ　　ク  
 を　　ら　　を　　ら　　な　　ら　　に　　は　　ん　　ば　　れ　　ゆ　　か　　う　　よ　　ゆ　　か　　う  
 ト　　ヲ　　ト　　ヲ　　ナ　　ラ　　タ　　カ　　ノ　　ト　　ヲ　　ユ　　カ　　ク　　ロ　　ユ　　カ　　ク

マ　　シ　　ナ　　ミ　　ソ　　ロ　　ハ　　タ　　ラ　　ラ　　ラ　　タ　　ラ　　ラ　　タ　　ラ　　ラ　　ラ　　ラ  
 あ　　し　　な　　み　　ソ　　ロ　　ハ　　タ　　ラ　　ラ　　ラ　　タ　　ラ　　ラ　　タ　　ラ　　ラ　　ラ　　ラ  
 マ　　シ　　ナ　　ミ　　ソ　　ロ　　ハ　　タ　　ラ　　ラ　　ラ　　タ　　ラ　　ラ　　タ　　ラ　　ラ　　ラ　　ラ

久保田 宵二 作詩  
佐々木 すぐる 作曲

昭 和 昭 和 昭 和 ノ コト モ シ ヲ 一 ハ ク タラ  
 昭 和 昭 和 昭 和 ノ コト モ シ ヲ 一 ハ ク タラ



昭和七年四月九日印刷  
昭和七年四月十五日發行

〔定價壹圓貳拾錢〕



集話童二宵

著者 久保田宵二

發行者 東京市本郷區元町二の六六  
生地 龍太郎

印刷者 東京市芝區三田四國町  
山村龜藏

出版

東京市本郷區  
元町二の六六

啓文社書店

電話小石川五五二九番  
振替東京三八七七六番



野口雨情先生著

指導と鑑賞

童謡教本

曲符及解説付

定價六拾錢  
送料六錢

(尋常一・二年用)

指導と鑑賞

童謡教本

曲符及解説付

定價六拾錢  
送料六錢

(尋常三・四年用)

指導と鑑賞

童謡教本

曲符及解説付

定價六拾錢  
送料六錢

(尋常五・六年用)







Y8-1222



\*80W19900

\*

